

## 思考の共有と吟味を促す学び合いをコーディネートする力の向上

### 学び合いを通してめざす子どもの姿



「よし、同じだ。これでいいんだ」 (確信)  
 「そうそう、そうなんだよ」 (共感)  
 「あれっ、なんか違うな。なぜだ？」 (吟味)  
 「ということは、こういうことか」 (再構築)  
 「もしかしたら、こうかもしれない」 (推理)  
 「だったら、こうしたらどうかな」 (創意)

◎ 仲間と考えを共有したり吟味したりすることを通して自分自身の中で対話生まれ、新たな自分の考えをつくり出すことが「学び合い」の目的です。

### 大切にしたい基本

**発問**：めざす子どもの姿を想定して、中心発問を吟味する。

**学習活動**：子どもの意識の流れに沿った学習活動を工夫する。

**机間指導**：子どもの考えを的確に見取って、学び合いの見通しをもつ。

『〇〇さんの考えから入って、  
 □□さんの考えを関わらせて深め、  
 △△という考えに着地させよう』

### 構造的な板書の工夫

◎ **学び合いを可視化する。**

- 話し合いの論点や視点を書く。
- 板書で思考を刺激して深める。  
(書く位置、空白の部分、色チョーク文字の大きさ、心情曲線 など)
- 子どもたちの発想を表現する。  
(KJ法、ブレインストーミング、ウェビングマップ、ランキング など)
- 子どもたちの考えや発言を類型化する。  
(ベン図、マトリックス表 など)

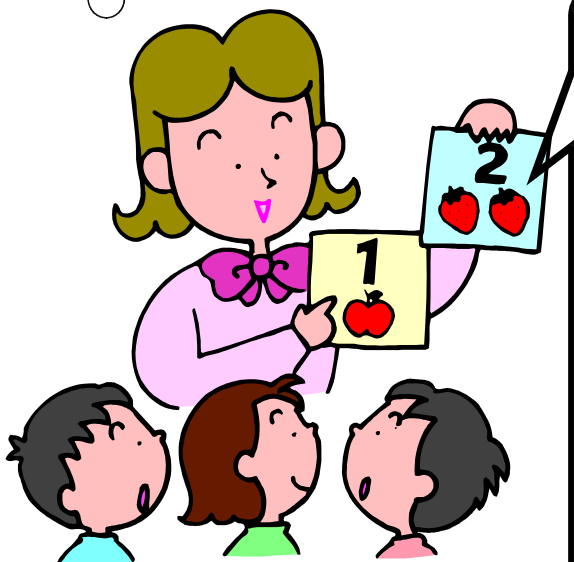
### 教師の言葉かけ

◎ **考えをつなぐ言葉かけ**

「～さんのよいところはどこですか」 (発見)  
 「～さんはどうしてこういう考えが浮かんだと思いますか」 (推測)  
 「～さんの考えはどういうことですか」 (要約)  
 「～さんの考えの続きがわかりますか」 (予想)  
 「～さんの気持ちがわかりますか」 (共感)  
 「ヒントが言えますか」 (補助)  
 「～さんの考えをとなりどうしで説明してみましょう」 (再生)

◎ **論理的思考力を刺激するつなぎ言葉**

「だとしたら…」 「たとえば…」 (膨らます)  
 「つまり…」 「…をもとにすると」 (深める)  
 「もしかすると…」 「でも…」 (広める)



### 聴き方をほめて育てる！

- ◎ しっかり聴いて反応している。  
(うなずいている、つぶやいている、笑顔になる、首をかしげる、目を見開く)
- ◎ 参考になる内容をメモしている。
- ◎ 発言や発表の内容を確かめている。  
「たとえば～ということですか？」 など
- ◎ 説明者にアドバイスしている。

### 目的をもったグループ活動とは？

- ◎ **練り上げてよりよい意見にする。**  
例) ノートを見せ合いながら説明する。  
→ 良い所に印を付ける。  
→ 考えをつないでまとめる。
- ◎ **出てきた多様な考えを整理する。**  
例) 付箋紙に書き出す → 発表しながら分類する → 傾向や規則性を考える。